



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第39回例会(6月1日)  
平成30年6月8日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例会場 同上 TEL 019(651)1111(代)  
例会日 毎週金曜日12時30分～  
<http://www.morioka-rc.jp/>

会長 飯塚 肇  
幹事 星 克彦  
会報 伴 亨  
クラブ事務局 TEL 019(653)5682  
FAX 019(653)5622

RI会長テーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE. 'ロータリー: 変化をもたらす'... イアン H.S. ライズリー  
盛岡RC会長テーマ — もう一度、奉仕 — 飯塚 肇

## 青少年育成団体支援金贈呈式

青少年奉仕委員会

NPO 法人インクルいわてさんは、ひとり親世帯の親と子が貧困に陥らず、差別、偏見、社会的排除にさらされることのない包摂された社会を目指して活動されています。

こども食堂を県内でいち早く開始されたほか、現在その活動は多岐にわたり、岩手県男女共同参画センターや、いわて内陸避難者支援センターの運営を受託されるなどしています。こうした活動内容が、青少年育成団体支援金の贈呈を決定した理由でございます。

5月に県内で子ども食堂の運営に取り組む団体などが連携するための「子どもの居場所ネットワークいわて」が設立されましたが理事長の山屋さんは、その共同代表も務められています。また、山屋さんは内閣府の男女共同参画推進委員も務められるなど幅広く活躍されております。



ゲスト卓話

### 『子供食堂は 地域と未来の特効薬』

インクルいわて 理事長  
山屋 理恵 様

当団体は東日本大震災を機に立ち上がった団体です。

ビジョンは『家族のカタチにかかわらず、誰もが生き生きと暮らしていける包摂された社会(Inclusive Society)の実現に向けて一緒に活動します。』です。「包摂(ほうせつ)」ちょっと難しい、聞き慣れない言葉ですが、「包摂」の反対の言葉は「排除」です。「排除」の反対が「包摂」です。誰一人取り残さない社会。私たちはこれからの復興に向けて、この理念しかないと思い団体の名前に組み込みました。

ビジョンの中に「貧困」とか「ひとり親」とか「女性」とか「こども」という言葉はありません。しかし、誰も排除しないのであれば、一番大変な課題を抱えている人たちを真ん中に据えよう、「それが誰なのか」と話しあい、全員一致したのが「ひとり親で子供を育てている状態の人たち」でした。また、震災によってパートナーを失い「家族のカタチ」が変わったおうちもありますし、今はもう

共通認識となっておりますが震災直後の頃の日本では、ひとり親の貧困や生きにくさは全くというほど認知されておりました。

「インクルいわての活動」を少し紹介させていただきます。大きな経験は平成26年度の「消費税点検会合」で被災地代表として官邸に招聘されたことです。

翌年は内閣府の「一億総活躍推進本部会議」というものに呼んでいただきました。全ての方が活躍するためには、大変な思いをされながら暮らしている人たちも取りこぼしてはいけないという考え方は私たちもそう思ったので、被災地の取り組みや必要なことについてお話しさせていただきました。

「不安な個人、立ちすくむ国家～モデル無き時代をどう前向きに生き抜くか～」厚生労働省も思い切ったタイトルを付けたなあと思ったところ、これは経済産業省が国の経済問題の課題として、「母子家庭の貧困」を挙げた資料がこれ以外にも

列挙されておりました。

この資料は画期的なものでした。次は国際比較です。下に行くほど貧困率が高く、上に行くほど貧困率は低くなります。項目を見ると大人が二人以上いても日本の貧困率は(24位)にあります。下から数えた方が早いですよ。大人が一人のひ

とり親世帯の場合は最低になっています。ということは日本のひとり親が世界の名で一番貧困、貧困率が高いということです。

そして地方の状況はもっと悪いということを是非知っていただきたいと思います。

相対的貧困率			子どもの貧困率			子どもがいる世帯の相対的貧困率								
順位	国名	割合	順位	国名	割合	合計		大人が一人		大人が二人以上				
順位	国名	割合	順位	国名	割合	順位	国名	割合	順位	国名	割合			
1	チェコ	5.8	1	デンマーク	3.7	1	デンマーク	3.0	1	デンマーク	9.3	1	ドイツ	2.6
2	デンマーク	6.0	2	フィンランド	3.9	2	フィンランド	3.7	2	フィンランド	11.4	1	デンマーク	2.6
3	アイスランド	6.4	3	ノルウェー	5.1	3	ノルウェー	4.4	3	ノルウェー	14.7	3	ノルウェー	2.8
4	ハンガリー	6.8	4	アイスランド	7.1	4	アイスランド	6.3	4	スロヴァキア	15.9	4	フィンランド	3.0
5	ルクセンブルク	7.2	5	オーストリア	8.2	5	オーストリア	6.7	5	英国	16.9	5	アイスランド	3.4
6	フィンランド	7.3	5	スウェーデン	8.2	6	スウェーデン	6.9	6	スウェーデン	18.6	6	スウェーデン	4.3
7	ノルウェー	7.5	7	チェコ	9.0	7	ドイツ	7.1	7	アイルランド	19.5	7	オーストリア	5.4
7	オランダ	7.5	8	ドイツ	9.1	8	チェコ	7.6	8	フランス	25.3	7	オランダ	5.4
9	スロヴァキア	7.8	9	スロベニア	9.4	9	オランダ	7.9	8	ポーランド	25.3	9	フランス	5.6
10	フランス	7.9	9	ハンガリー	9.4	10	スロベニア	8.2	10	オーストリア	25.7	10	チェコ	6.0
11	オーストリア	8.1	9	韓国	9.4	11	フランス	8.7	11	アイスランド	27.1	11	スロベニア	6.7
12	ドイツ	8.8	12	英国	9.8	11	スイス	8.7	12	ギリシャ	27.3	12	スイス	7.2
13	アイルランド	9.0	12	スイス	9.8	13	ハンガリー	9.0	13	ニュージーランド	28.8	13	ハンガリー	7.5
14	スウェーデン	9.1	14	オランダ	9.9	14	英国	9.2	14	ポルトガル	30.9	13	ベルギー	7.5
15	スロベニア	9.2	15	アイルランド	10.2	15	アイルランド	9.7	15	メキシコ	31.3	15	ニュージーランド	7.9
16	スイス	9.5	16	フランス	11.0	16	ルクセンブルク	9.9	15	オランダ	31.3	15	ルクセンブルク	7.9
17	ベルギー	9.7	17	ルクセンブルク	11.4	17	ニュージーランド	10.4	17	スイス	31.6	15	英国	7.9
18	英国	9.9	18	スロヴァキア	12.1	18	ベルギー	10.5	18	エストニア	31.9	18	アイルランド	8.3
19	ニュージーランド	10.3	19	エストニア	12.4	19	スロヴァキア	10.9	19	ハンガリー	32.7	19	オーストラリア	8.6
20	ポーランド	11.0	20	ベルギー	12.8	20	エストニア	11.4	20	チェコ	33.2	20	カナダ	9.3
21	ポルトガル	11.4	21	ニュージーランド	13.3	21	カナダ	11.9	21	スロベニア	33.4	21	エストニア	9.7
22	エストニア	11.7	22	ポーランド	13.6	22	ポーランド	12.1	22	ドイツ	34.0	22	スロヴァキア	10.7
23	カナダ	11.9	23	カナダ	14.0	23	オーストラリア	12.5	23	ベルギー	34.3	23	ポーランド	11.8
24	イタリア	13.0	24	オーストラリア	15.1	24	ポルトガル	14.2	24	イタリア	35.2	24	日本	12.7
25	ギリシャ	14.3	25	日本	15.7	25	日本	14.6	25	トルコ	38.2	25	ポルトガル	13.1
26	オーストラリア	14.5	26	ポルトガル	16.2	26	ギリシャ	15.8	26	スペイン	38.8	26	アメリカ	15.2
27	韓国	14.9	27	ギリシャ	17.7	27	イタリア	16.6	27	カナダ	39.8	26	ギリシャ	15.2
28	スペイン	15.4	28	イタリア	17.8	28	アメリカ	16.6	28	ルクセンブルク	44.2	28	イタリア	15.4
29	日本	16.0	29	スペイン	20.5	29	スペイン	18.9	29	オーストラリア	44.9	29	チリ	17.9
30	アメリカ	17.4	30	アメリカ	21.2	30	チリ	20.5	30	アメリカ	45.0	30	スペイン	18.2
31	チリ	18.0	31	チリ	23.9	31	メキシコ	21.5	31	イスラエル	47.7	31	メキシコ	21.0
32	トルコ	19.3	32	メキシコ	24.5	32	トルコ	22.9	32	チリ	49.0	32	トルコ	22.6
33	メキシコ	20.4	33	トルコ	27.5	33	イスラエル	24.3	33	日本	50.8	33	イスラエル	23.3
34	イスラエル	20.9	34	イスラエル	28.5	-	韓国	-	-	韓国	-	-	韓国	-
OECD平均		11.3	OECD平均		13.3	OECD平均		11.6	OECD平均		31.0	OECD平均		9.9

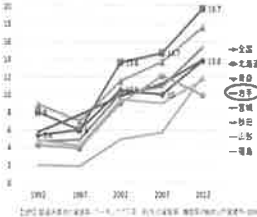
(出典) OECD (2014) Family database "Child poverty"

(注) ハンガリー、アイルランド、日本、ニュージーランド、スイス、トルコの数値は2009年、チリは2011年。

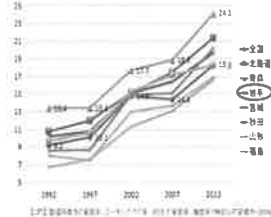
これは東北と北海道だけに分けた資料です。左側は都道府県ごとの子どもの貧困率の推移。他の県はジグザグしていますが、岩手は一直線に上がっています。貧困はどの県も下がることなく、上昇の一途をたどっています。

貧困率の推移

都道府県ごとの子どもの貧困率推移 (北海道・東北)



都道府県ごとの貧困率推移 (北海道・東北)



深刻な「日本の子どもの貧困」は政策の第一課題と、国もようやく子どもの貧困に対して色々対策をとるようになりました。

今のようなこの国の現状をみて若い人たちはどう思うか。「結婚して子ども持つとしんどいこと

になるね」「子どもを持つことってリスクなのか」という声が若い人から出始めています。また、「何らかの事情でひとり親になると生活がこんなに困難になるなら、子どもって要らないよね。」今、少子高齢化とか少子化問題に色々な施策が打たれておりますが、そもそもこういう状態を放って置いて解決出来るのかなって思います。

今さらですが、子どもが貧困をつくりだしているのではありません。子どもは社会の課題の体現者で、止めるべきはその連鎖です。

今、目の前にお母さんと子供が並んでいて、その子供が泣いているとしたら 母親は10年前、20年前にその子と同じ顔で泣いていたのではないのでしょうか。10年前、20年前その時にきちんと支援や仕組みがあれば、誰かが手を差し伸べていれば。

私たちは今すぐ何をすべきなのか、連鎖を止めるためにはどうすることが必要なのかをいつも子どもたち、お母さん、お父さんたちに教えられます。

子どもたちの未来

2030年の社会と子どもたちの未来 文部科学省 平成27年

- 2030年 少子高齢化が更に進行する一方、グローバル化や情報化が進展する社会では、いまだかつてないスピードで相互に影響し合い一つの出来事が広範囲、かつ複雑に絡み合い、先を見通すことがますます難しくなっている。(誰もが子育て困難・未体験の社会へ)
- 子どもたちの65% 将来、今は存在していない職業に就く  
(キヤシー・デビッドソン氏 (ニューヨーク州立大学大学院センター 教授 2011年))
- 今後10年～20年程度 半数近くの仕事が自動化される可能性が高い  
(マイケル・スズボーン氏 (オックスフォード大学客員教授 2014年))
- 2045年 人工知能が人類を超える「シンギュラリティ」に到達するという指摘もある。

2030年には先ほど言った少子高齢化が更に進行する一方、グローバル化や情報化が進展する社会では未だかつてないスピードで相互に色々なものが影響しあって、一つの出来事が広範囲かつ複雑に絡み合い、先を見通すことがますます難しくなっています。そして2番目の項目、子ども達の65%は将来、今存在していない職業に就くと言われています。震災の年に一年生になった子供たちが大学を卒業した頃には、65%は今ない仕事に就くのだそうです。そして3番目の項目、今後10年、20年で半数近くの仕事が自動化される可能性が高いとあります。そして2045年にはシンギュラリティと言って、人工知能が人類を超えと言われていています。

これがこれからの日本のカタチです。楽しい明るい話をしたいのですが、示されているのは大変なデータです。後7年後には単身者世帯がこの国で最大の世帯類型になる。2人でも、4人家族でも、3世帯でも、サザエさんの家でもなく、です。そのすぐ5年後には全世帯の1/3が単身者世帯になります。そしてその5年後には子育て世帯の3世帯に1世帯がひとり親世帯になり、同時に人口の約半分が独身者になる。そしてまた5年たつと年間の孤独死が20万人になっていく。

つまり社会全体が単身者、孤立生活が標準になり、人生100年と長期化していく。隣の人姿がますます見えにくく、困難は弱いところに集中する。どんな時代でも人間は、誰だって悩みは知られたくないです。お金がないとか、貧困状態にあるとか、しんどいとか、おうちの中のこととか、隠します。一番下の項目に、『昔に戻るのには解ではない』と書きました。これだけ社会も人の生き方も多様になれば、昔の価値観や生き方はもはやそぐわないのです。こちら価値観を変えて社会に適応せずに、昔の形に当てはめようとしたら歪みが出てきて、ますます若い人たちが生き難くなるのです。

そこでやっと「こども食堂」のお話しです。だれかとつながる、孤立させないしくみとして「こども食堂」があります。ここは子どもが真ん中ですが、子どもだけでな

ひとり親家庭の課題解決と子育て支援は「未来」の万能薬

- 人口減少の流れを変え、次世代の現象を食い止める「子育て支援」
- 社会的孤立リスクを抱えている人々（特にひとり親家庭）が自立し生きる力を強めるしくみ
- 経済界の理解と協力
- 地域住民の参加を得るがらつながる「場」づくり

できるだけ多くの人々が「我がごと」と考え、積極的に支援の輪に入るかどうか

山崎史郎「人口減少と社会復興」より

「子育て支援は究極の未来と地域づくり」  
そのしくみのひとつが「こども食堂」



く地域の誰もが文字通り同じテーブルについたり、出会うことができます。子どもの生きにくさを全員が我が事と考えてその輪に入ることができるかどうか。そんな居場所としての子ども食堂が全国で2200カ所以上に増えてきました。岩手でも先日やっとネットワークができました。

「こども食堂」は子ども支援にみえますが、実は地域づくりでもあるのです。子供の貧困は子供が貧困ではないのです。世帯の貧困であって、世帯の貧困という事はその地域の貧困、背景の社会のゆがみの問題なのです。そして子供の貧困は教育の敗北だとも言います。全ての人が考えなければならぬ問題なのだと思えなければならぬ。

子ども食堂には色々な御寄付が寄せられます。たとえば本、色んな本があります。ドラえもんとかまるちゃんの絵がありますが、これはまんが単行本ではなく、まるちゃんのことわざ、ドラえもんの天体、ドラえもんの計算と勉強に関係のあるものが送られてきます。

そしてお肉。子供達はお肉が大好きですし、その声が届いたかのようにお肉の卸業者さんが、すごいお肉を送って下さいました。その方も子ども食堂の新聞記事を見て送って下さいました。「自分も小さい時から苦勞し大変な思いをしてきたが、今、身を立てて、お肉の卸業者をやっているものでどうぞ」子供達の歓声は凄く、いつも楽しみにしていました。それがある時からパタッと途絶えました。子供達が「お肉のおじちゃんどうしたの？」実は岩泉の方で、台風被害で大変な思いをされている。それを話したら、子供達がものすごく心配して「お肉のおじちゃん大丈夫かな？ケガしてないかな？」って凄く心配したので、みんなで色紙を書きました。お返事が来て「みんな、ありがとう。自分は子供達を支えているつもりだったけど、今回この子供達の色紙で自分が支えられた。」とお手紙を頂きました。支援する側・される側って、くくりはありません。いつどうなるかわからないし、子供達の支える力は素晴らしい。こういう事の積み重ねで世の中を作って行けばいいんだ、こういう場があって良かったと、本当に思った事例でした。

このように応援してくれる企業さんはお金や物をくれる人たちという位置づけではありません。インクルの子ども食堂では食べるだけでなく、様々なプログラムを用意してこの「しゃいん食堂」プログラムは子どもたちに職業観と地域の働いている人たちを知ってもらう企画です。

子供が将来、勉強だけじゃなくて、就労するときに多様な選択肢があればよいなと思っていたときに、地元のビール工場さんが名乗り出て下さり、ビール工場見学ができました。麦汁がビールになる前って凄く甘いんですね。子供達がいっぱい質問します。「どうしてビールは美味しいの?」「大人になればおいしくなるよ」、「大人になれると何で美味しいの?」「舌が変わるんだよ」、「舌が生え変わるの?」などと面白い質問がたくさん出ました。「じゃあ、どうして大人はお酒を飲むの?」と問われ、そこの社長さんは「子供は一日に300回笑うけど大人はせいぜい15回しか笑わない。

笑うために飲むのかもね」とお話ししたら「ふーん」と面白い反応がありました。

地域に子供のための活動が一つでも増えること、それはきっとすべての人にとって生きやすい地域や未来になることではないでしょうか。つまり人生100年の大人にとっても必要な場所。「食」と「こども」この二つのフレーズを真ん中に人口減少社会と人生100年時代を誰も排除せずに生きていく。子どもは社会の課題を私たちに全身で訴えています。

どうしよう、どうしようと悩んでいる間に子供はあっという間に大きくなりますし、社会もどんどん変容していきます。待った無しなんです。今後も盛岡ロータリークラブの皆様からのご厚意に応えられますように、努めてまいる所存ですので、今後とも応援くださいますようよろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

例会報告

第39回例会  
平成30年6月1日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 飯塚 肇会長
- ・国歌 君が代
- ・ロータリーソング (奉仕の理想)
- ・ビジター 佐々木正夫君 (盛岡中央RC)
- ・ゲスト 山屋理恵様 (NPO法人インクルいわて理事長)・タンパンペンスントン シラナットさん (米山記念奨学生)
- ・会長報告 飯塚 肇会長
- ・皆出席バッチ 近藤 駿君 (32年)・藤村文昭君 (22年)・星 克彦君 (7年)・阿部 広君 (5年)・

海野 尚君 (4年)

- ・入会祝 近藤 駿・藤村吉隆・川村勝浩君。
- ・結婚祝 佐藤義正君
- ・幹事報告 福田莊介・米内 正・阿部 広君
- ・幹事報告 星 克彦幹事
- 終了後理事会開催

【ニコニコBOX】

◆吉田育弘君…肴町店を5月30日で本店(下橋店)に本日6月1日より統合いたしました。肴町店は昭和41年5月1日開設で52年間、永いことお世話になりましたこと感謝し厚くお礼申し上げます。ヨシダは創業118年、さらなる継続に情熱を傾けて参ります。今後とも

何卒よろしくお願い申し上げます。

◆青少年奉仕委員一同…インクルいわて山屋理恵理事長様、本日は卓話いただきありがとうございます。こども食堂をはじめとした貧困に陥らず、差別、偏見のない社会を目指した活動を少しずつですが支援させていただきます。

●メイクアップ

地区=藤田・掛上・金沢・栗田・熊谷(隆)・佐藤(重)・諏訪・千崎・海野・田村・吉田(育)・下道・櫻下君。水沢東R.C.=長澤君。花巻R.C.=伴君。盛岡西R.C.=作田君。クラブ委員会=福田・畠山・勝・近藤君。

出席報告

会員数/77名

出席数/44名

出席率/66.26%

前々回/90.67%

プログラムのお知らせ

- ・6月 8日(金) 会員卓話 飯塚 肇会員
- 15日(金) 第4回クラブアッセンブリー
- 21日(木) ターミネートパーティー (22日例会変更)

●本号編集担当/佐藤 仁志